

総合政策部都市創造課

1 各種許可・協議・届出

(1) 都市計画法に基づく都市計画施設等の区域内における建築の許可

許可件数
10

(2) 公有地の拡大の推進に関する法律に基づく土地買取り希望の届出・申出

届出・申出件数	面積 (㎡)
1	1,324

(3) 国土利用計画法に基づく届出等

土地売買等届出	受理件数	面積 (㎡)	処理件数	
			不勧告	取下げ
	20	81,561.80	20	0

(4) 駐車場法に基づく届出

届出件数
1

2 審議会等の開催状況

米子市都市計画審議会

開催期日	審議事項
平成30年10月30日	米子市都市計画マスタープラン(素案)について

3 中心市街地活性化関係

(1) 中心市街地活性化基本計画関係

ア 中心市街地活性化基本計画の推進

中心市街地活性化協議会と連携し、角盤町商店街振興組合を核として「角盤町中心市街地にぎわい創出プロジェクト会議」を組織し、今後の角盤町商店街の具体的な施策や事業主体を含めた協議を行った。

イ 米子市中心市街地活性化基本計画第4回変更申請の認定

国の支援策の活用に伴う変更が必要となったため、第4回の変更申請を行い、平成31年3月26日付で国の認定を受けた。

(2) 中心市街地活性化協議会への支援

ア 中心市街地活性化協議会負担金

中心市街地活性化協議会の活動を支持するため、事務局経費の一部を負担した。

中心市街地活性化協議会事務局運営費負担金 749,078円

(3) 中心市街地活性化事業の推進

ア 中心市街地活性化情報発信事業

(ア) まちなかを巡るモニターツアー事業

中心市街地の魅力を発信してもらうため、情報発信力の強い地域のブロガーやSNS利用者を招いて、年2回モニターツアーを開催した。

夏 平成30年8月25日開催 モニター6名 記事8本

冬 平成31年2月16日開催 モニター8名 記事8本

(イ) まちなかなう事業

本市のホームページに「よなご まちなかなう ～まちなか特派員報告～」のコンテンツを作成し、個人ブログで本市の中心市街地等に関する記事を発信している方を、「まちなか特派員」として13名を任命し、本市のホームページに各特派員のブログへのリンクを張り、特派員自らのブログを通じて中心市街地エリアの見どころ、まちなかの楽しさやにぎわいの様子などの発信に取り組んだ。

平成30年4月1日～平成31年3月31日 記事145本

4 地方バス路線関係

(1) 生活バス路線を維持するため、生活路線維持費補助金の支出を行った。

日ノ丸自動車株式会社

区 分		路線数	補助額 (単位 ; 円)
生活路線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対象路線 (広域幹線路線)	6 28,277,557
		県補助対象路線 (広域路線)	7 23,456,379
		単市補助対象路線 (市内完結路線)	8 26,187,517
合 計		21	77,921,453

日本交通株式会社

区 分		路線数	補助額 (単位 ; 円)
生活路線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対象路線 (広域幹線路線)	1 6,937,098
		県補助対象路線 (広域路線)	5 25,514,059
		単市補助対象路線 (市内完結路線)	6 19,067,542
合 計		12	51,518,699

(2) 米子市循環バス (愛称「だんだんバス」) 運行

路線バス活性化策の一助として、米子駅を発着し、大学病院など市内中心部を循環するコミュニティバスの運行を行った。

ア ル ー ト 市内中心部 (米子駅→大学病院→ホープタウン前→天満屋前→ふれあいの里→高島屋前→米子駅) での一方向周りの循環運行

イ 運行回数 平日21便、土・日・祝日19便 (始発8時～終発18時:30分間隔)

ウ 使用車両 市所有のノンステップバス (34人乗り) 2台

エ 停留所 32か所 (市が設置)

オ 料 金 中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料

定期券 中学生以上1か月4,500円 小学生1か月3,000円

障がい者等1か月1,500円

回数券	150円券11枚綴り	1,500円	100円券11枚綴り	1,000円
	50円券11枚綴り	500円		
カ 料金割引	鳥取県内の路線バス定期券（日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社発行分）を提示された方を対象に中学生以上1回50円割引			
キ 運行方法	市とバス事業者が協定を結び、運行するバス事業者に対し、運行経費から運賃収入を控除した額（平成30年度；14,379,515円）を市が補填した。			
ク 利用者数	総乗車人員129,933人 一日平均357人、一便平均17.6人（幼児を含む。）			

(3) 米子市淀江町巡回バス（愛称「どんぐりコロコロ」）運行

路線バスの廃止代替として、淀江駅または米子東病院を発着し、米子市淀江町全域を巡回するコミュニティバスの運行を行った。

ア ル ー ト	便ごとにルートが異なり、淀江駅、白鳳高校、マリ医院、米子東病院、イオンモール日吉津等を巡回（1便当たりの所要時間 15分～56分）			
イ 運行回数	平日・土曜10便、日曜・祝日運休（始発8時00分～終発15時54分）			
ウ 使用車両	バス事業者所有のワンステップバス（35人乗り）1台			
エ 停 留 所	53か所（市が設置）			
オ 料 金	中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料			
カ 定期券	中学生以上1か月4,500円 小学生1か月3,000円 障がい者等1か月1,500円			
回数券	150円券11枚綴り	1,500円	100円券11枚綴り	1,000円
	50円券11枚綴り	500円		
キ 料金割引	鳥取県内の路線バス定期券（日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社発行分）を提示された方を対象に中学生以上1回50円割引			
ク 運行方法	市がバス事業者に運行を委託し、運行経費から運賃収入を控除した額（平成30年度；10,268,616円）を委託料として支払った。			
ケ 利用者数	総乗車人員7,541人、 一日平均25.6人、一便平均2.7人（幼児を含む。）			

(4) 米子市地域公共交通会議の開催

本市における生活交通に関連する事項について、道路運送法の規定に基づく米子市地域公共交通会議において検討した。

ア 構 成	学識経験者2名、事業者の組織する団体1名、バス事業者2名、住民又は利用者の代表4名、運転手を組織する団体1名、中国運輸局1名、警察1名、市職員2名 計14名			
イ 開 催 日	第1回	平成30年8月28日		
	第2回	平成31年2月18日		

5 鉄道関係

- (1) 山陰本線、福知山線の複線電化等について「山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会」を通じて要望活動を行った。
- (2) 山陰を縦貫し北陸及び近畿を結ぶ超高速鉄道の建設着手推進を目的とする「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」を通じて要望活動を行った。

- (3) J R利用に関わる諸問題について、J R西日本米子支社との調整を行った。
- (4) J R淀江駅前公衆便所の維持管理を行った。

6 航空路線関係

- (1) 空港利用者の利便性向上のため、鳥取県、境港市と共同で米子空港駐車場を運営し、駐車場無料化を継続するとともに、J R境線米子空港駅待合所の維持管理を行った。
- (2) 平成30年度の米子空港利用者数は、国内線が59.0万人、国際線が10.4万人、合計69.4万人であった。
- (3) ANAの米子ー東京便については、平成30年4月1日から5月31日及び平成30年10月1日から平成31年3月31日の間は、1日6往復12便で運航した。また、平成30年6月1日から9月30日までの間は、1日5往復10便で運航した。
- (4) 米子空港の利用促進活動について、「米子空港利用促進懇話会」を通じ、各種利用促進活動、PR活動を行った。
 - ア 旅行会社と連携した各種旅行商品の造成及びPR
鳥取県や、中海・宍道湖・大山圏域市長会等と連携し、東京便旅行商品造成及び閑散期対策を実施した。
 - イ 新聞雑誌等によるPR
新聞、雑誌、ラジオ、テレビ番組等により路線や旅行商品についてPRを行った。

7 通信関係

通信業務の円滑な事業推進を図るため、関係諸団体との調整を行った。

8 水源対策関係

- (1) 賀祥ダム建設工事に係る水道局企業会計の負担に対し、次のとおり費用負担を行った。
 - ア 水道事業出資金 15,141,834円
 - イ 水道事業補助金 479,392円
- (2) 旧淀江町簡易水道事業に係る水道事業債償還金の一部について、次のとおり費用負担を行った。
 - ア 水道事業出資金 4,387,966円
 - イ 水道事業補助金 1,051,720円

9 高等教育機関連携事業

高等教育機関の充実発展への支援

鳥取大学医学部及び、米子工業高等専門学校の発展と産学連携の強化を目的に、様々な事業を実施している鳥取大学振興協力会及び、米子工業高等専門学校振興協力会の活動に対し、引き続き協力を行った。

10 交通バリアフリー推進協議会関係

「米子市交通バリアフリー基本構想」（平成21年2月策定）で定めた各種事業の推進状況を評価、検討を目的とした「米子市交通バリアフリー推進協議会」を2回開催した。

開催日：平成30年10月26日、平成31年2月13日

1.1 「医療充実都市よなご」情報発信関係

(1) 広報よなご掲載

「医療」という切り口で改めて米子の安心、魅力を再認識していただき、シビックプライドの醸成を図る目的で市報掲載を行った。

掲載実績

平成30年7月 「ご存じですか？米子の医療・介護環境」

9月 「かかりつけ医」と「病診連携」～わたしたちの安心の仕組み～

10月 鳥取大学医学部における基礎研究とバイオ関連企業

平成31年1月 医工連携 異分野との出会いで広がる可能性

2月 「健康寿命の延伸」とそれを支える人たち

3月 ここにあーけん全国有数の脳神経小児科

(2) リーフレット作製

医療・介護の充実についての記事を掲載したリーフレットを作製し、地域の魅力として市内外に情報発信を行った。

1.2 わかりやすいまちづくり推進関係

自分たちが暮らしている街に愛着を持つとともに、わかりやすいまちづくりを推進するため、通りに通称を命名していく取組の第二弾として、久米町祇園橋線（一部）～久米町末広町通り線（一部）～湊山公園線（一部）の約650mを“内堀通り”、東町南大工町線～東町南2号線～東町日野町裏線～中町東町1号（二部）線～中町灘町橋線の約1855mを“外堀通り”と命名した。